

◆内科診療室から◆

総合的な医療

内科 井上均(医師)



代々木病院は平成18年度より、管理型研修指定病院の資格を取得し、初期研修医の受け入れを再開し、また救急指定病院としても再度認定され、病院全体が活気づいています。また中野共立病院との医療連携が進み、外科部門の代々木病院への一本化や内科医師の代々木病院への異動が行われ、若い医師の数が増え、以前よりエネルギーギッシュに見えるのではないのでしょうか。

さて、代々木病院は、都心部にあるた

みなさんと一緒に医療をつくっていく決意込めて

そういつた考え方を基本にしながら、今年度、私たちが力を入れる分野として3つ考えています。



2月26日の社教館まつりで健康相談

1つめは、かかりやすく、そして生活習慣病を起さないよう、きちんと言語できる外来医療をつくる。2つめは、健康診断や健康相談を旺盛に行い、予防医学に力を入れる。3つめは、老年医療、在宅医療により力を注ぐ。

医療制度や介護制度

\*

私たちは、患者、国民本位の医療制度、介護制度へ改善していくことを目標のひとつとして、また平等の医療を死守する立場で、皆さんと一緒に医療をつくっていきたくて決意しています。

酒

酒は基本的に、物質としては毒物です。そのことは、発ガン性と同時に、催奇形性という胎児への影響で測ることが出来ます。「胎児性アルコール症候群」という奇形は、妊娠初期に大量に飲酒した母から生まれ、比例して増加します。人間の子の神経発達で、顔面の奇形や知的障害などを伴っています。知覚障害を見つづけるため、因果関係を証明できないだけともいえます。後期になっても消失しません。酒も代謝産物

酒は基本的に、物質としては毒物です



酒は基本的に、物質としては毒物です。そのことは、発ガン性と同時に、催奇形性という胎児への影響で測ることが出来ます。「胎児性アルコール症候群」という奇形は、妊娠初期に大量に飲酒した母から生まれ、比例して増加します。人間の子の神経発達で、顔面の奇形や知的障害などを伴っています。知覚障害を見つづけるため、因果関係を証明できないだけともいえます。後期になっても消失しません。酒も代謝産物

くすりの話 あれこれ14

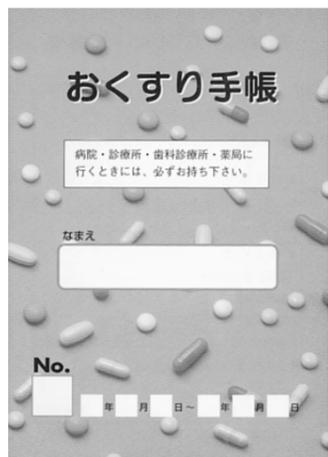
今回はお薬手帳を取り上げてみました。Q「お薬手帳」とは何ですか? A「処方された薬の内容、のみ方等を記録していく手帳です」 Q「薬のほかに記入することはないか?」 A「副作用歴、アレルギーなどを記入する欄もあります。今までに薬で副作用が起きたことがある方やアレルギー体質の方はここに記入します」 Q「実際の使い方は?」 A「処方箋といっしょに薬局の窓口にお出しください。調剤の時、薬の重複やのみあわせをチェックし、その日の薬を記



「お薬手帳」をつくりませんか

北市こずえ (たくみ外苑薬局・薬剤師)

Q「お薬手帳は作った方が良いですか?」 A「複数の医療機関を受診する方、副作用歴のある方、相互作用(のみ合わせ)の多い薬を服用している方は是非、作ることをお勧めします。それ以外でも、緊急



Q「お薬手帳は作った方が良いですか?」 A「複数の医療機関を受診する方、副作用歴のある方、相互作用(のみ合わせ)の多い薬を服用している方は是非、作ることをお勧めします。それ以外でも、緊急

精神科医師・岩田俊